

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。



財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝野 中
埼玉県草加市稻荷5丁目



試験名称	木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 栗山百造 所在地：新潟県三条市大字井戸場84-9
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 名称：木造建築用柱脚仕口金物 商品名：クリホールダウンⅢ KHDⅢ-30・35 用途：柱脚の仕口に使用する金物（アンカー型） 寸法：幅40mm，長さ195mm，厚さ3.2mmの鋼板添え板にコの字形に折り曲げた厚さ4.5mmの鋼板を溶接接合したもの（図-2参照） 材質：添え板部；SPH 590，下記の化学成分及び機械的性質を満足する。 化学成分；C (0.20%以下)，Si (0.50%以下)，Mn (1.60%以下) P (0.035%以下)，S (0.035%以下) 機械的性質；引張強さ 590N/mm²以上 コの字形部；SPHC (JIS G 3131) 表面処理：ダクロタイズド処理</p> <p>2. 接合具 木ねじ：クリスパイラルビス7×65，8本使用 長さ；65mm，ねじ部の長さ；50mm，ねじ部の外径；7mm 谷の径；4.6mm，ねじ山のピッチ；3.175mm，ねじ先の形状；とがり先 材質；SWCH18A (JIS G 3507-2) 表面処理；ダクロタイズド処理 アンカーボルト：六角ボルトM16×255mm，材質；SWRM8 (JIS G 3505) 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625)</p> <p>3. 使用軸組 柱：樹種；すぎ，寸法；105×105mm</p> <p>4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1及び図-2（試験体の形状・寸法）</p>
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	<p>短期基準引張耐力 (P_{0t}) : 37.4 kN</p> <p>耐力算定基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-3及び図-4 破壊状況：写真-1～写真-6</p>
備考	当該試験結果は，平成12年建設省告示第1460号表三（ぬ）に定める 15kN用引き寄せ金物×2枚（必要耐力30.0kN）に該当する。
試験期間	平成19年10月 4日
担当者	構造グループ 試験監督者 川 上 修 試験責任者 室 星 啓 和 試験実施者 渡 辺 一 ， 高 橋 慶 太
試験場所	中央試験所